



第3号

1994.4



社団法人 千葉県緑化推進委員会



# 4月、気持ち新たに

平成6年度(社)千葉県緑化推進委員会事業計画

設立から早44年。一本の木に年輪があるように、本委員会も一年一年、事業計画に基づき郷土緑化運動を推進してまいりました。

そして年を重ねるとともに、その幹が太くなり、実を結び始めていると考えております。これもひとえに皆様のご支援によるもの、心より感謝いたしております。



さて、さる2月21日、平成6年度の事業計画が総会において承認されました。ここに、その主な事業内容をご紹介します。今後とも、ご協力、ご参加のほど、よろしくお願いたします。

本委員会関係者一同も、気持ち新たに、これまで以上に運動の推進に努力いたしたい所存でございます。

4月25日(月)

## 苗木・鉢花配布会

家庭での身近なみどりづくりを願って、午前11時30分からJR千葉駅前にて苗木・鉢花の無償配布を行います。配布した苗や花が、皆様の手で育てられ、家にも街にもみどりが広がってゆく。それが本委員会の願いなのです。

4月29日(金・祝日)

## 郷土緑化県民大会

4月29日は「みどりの日」。緑豊かな環境の創造をめざし、「第45回千葉県郷土緑化県民大会」を、長生郡・長生村の尼ヶ台総合公園で開催。緑化功労者の表彰、緑の少年団の結成、記念植樹、苗木の配布などを行います。

5月14日(土)

## 森林浴のつどい

森林浴とは、静寂の中で樹木の香気を浴び、精神的な安らぎと爽快な気分を得ることで、森林・林業への理解を深める機会ともなっています。近年のブームにより、本委員会の「森林浴のつどい」への応募者も急増しています。

今年も「大多喜コース」「清和コース」の2コースで「森林浴のつどい」を行いますので、ご参加ください。詳しくは8ページをご覧ください。







5月31日(火)まで

## 緑の羽根募金運動

県民の皆様のご支援により、各市町村で実施された家庭募金、学校募金および企業・団体から寄せられた職場募金などの平成5年度総額は32,589,350円にも達しました。

お寄せいただいた募金は、県下各地の学校・公園などの植樹や、緑化思想の普及、啓発に重要な役割を果たしています。

今年度もひきつづき、緑の羽根募金運動にご協力くださいますよう、よろしくお願いたします。

\*募金は、本委員会、各支庁産業課、および各市町村窓口にて、随時受け付けております。

平成6年度緑の羽根募金運動

目標額 3,000万円

募金期間 3月1日～5月31日

## 緑の少年団の育成

次代を担う少年少女たちが、自然に親しみ、豊かな人間性を持った、健康で明るい社会人に育つことを願い、昭和54年に結成された本県の緑の少年団は、現在11市12町村56団、団員数4,500名に達しています。

キャンプ、自然観察などを通じての学習活動や、植物栽培、美化活動などの環境づくりのように、地域に密着した少年団の実践的な活動は、本県の緑化運動にとっても、重要な役割を果たしています。

現在、これら緑の少年団活動の普及と充実を図るため、新規の団結成を促進しています。

ご質問、ご関心などのある場合は、本委員会までご連絡ください。ご説明にうかがいます。



## 年間行事カレンダー

- 4月 郷土緑化県民大会の開催  
市民苗木・鉢花配布会  
国土緑化運動ポスター原画コンクール優秀作品の展示  
緑の羽根募金運動強調月間  
広報誌グリーンえっせんず春号(第3号)の発行
- 5月 決算総会  
森林浴のつどい  
(全国植樹祭)
- 6月 緑の少年団指導者会議  
県民の日 市民苗木配布会
- 7月 緑の少年団交流集会  
広報誌グリーンえっせんず夏号(第4号)の発行
- 8月 第1回県民参加のみどりづくり  
(緑の少年団全国大会)
- 9月 みどりの教室の開催
- 10月 第2回県民参加のみどりづくり  
広報誌グリーンえっせんず秋号(第5号)の発行  
(全国育樹祭)
- 11月 公共施設等の環境緑化事業の開始
- 12月 国土緑化運動ポスター原画コンクール表彰式  
門松カードの配布
- 1月 市町村緑化担当者会議  
広報誌グリーンえっせんず冬号(第6号)の発行
- 2月 予算総会
- 3月 緑の羽根募金運動の開始  
県民植樹事業  
第3回県民参加のみどりづくり



千葉の散歩道

# 21世紀の森と広場

(松戸市)

## 身近な都市公園で 自然と遊ぼう!!

松戸市に誕生した「21世紀の森と広場」。都市の中心にありながら、喧騒を感じさせない都市公園。千羽堀の丘陵地全体をそのまま生かした50.5haの広大な敷地。貴重な自然を守り、野生動物が息できるビオトープの考え方が随所に生かされています。

緑の芝生に囲まれた光と風の広場。一日1,000tの自然のわき水がせせらぎを造り、白いクレソンの花が満開です。面積5haの千駄堀池は、水鳥たちのサンクチュアリ。カル

ガモ、コガモ、バン、コサギ、コチドリ、カイツブリなどが息しています。みどりの里は田園風景が広がり、あぜ道にはヒメオドリコソウ、ナズナ、タンポポがいっぱい。レンゲ畑、麦畑の緑もあざやか。緩やかな山道を登って行くと鬱蒼と茂った森の中。森林浴が楽しめます。野外昆虫教室、園芸教室を常設。毎月、自然観察会や「こども手づくり教室」などの講習会も開催。

松戸市立博物館、森のホール21に隣接。



■交通 / 新京成八柱駅か武蔵野線・新八柱駅から徒歩15分。または、八柱駅南口より小金原団地行き新京成バスで公園中央口下車 / 車の場合は、国道6号線を柏方向に向かい松戸市公設北部市場の信号を右折、5分

■開園時間 / 午前9時～午後5時（ただし、7月21日～8月20日は午後6時30分まで）

■休園日 / 施設のみ毎月曜日

21世紀の森と広場 パークセンター

☎ 0473 (45) 8900



# 春季限定 摘み草ハイキング&クッキングのスズメ



丘陵や原野に生える多年草。漢方では、根を薬用として用い、フランスでは葉をサラダに用いている。タンポポの花の汁を足に塗ると、かっけこに勝つというおまじないもある。

## おまじない付き「タンポポオムレツ」 (4人分)

- ①生のマッシュルーム200gを、白ワイン大さじ2、バター小さじ1、塩・こしょう・レモン汁少々で蒸し煮して、スライスする。煮汁にはバター・小麦粉各大さじ4を加える。
- ②タンポポの若葉数枚は、塩をひとつかみ入れた湯でゆでて、ソーテーしておく。
- ③卵8個をといたものに、牛乳大さじ4、塩小さじ $\frac{1}{2}$ 、こしょう少々を入れ、①②を入れて焼く。



山野や道端など、日当たりの良い荒地地に生える多年草。香りが良く、タンパク質やビタミン類を多く含んでいる。重曹の湯にさっと通し、冷水にさらした後、乾燥保存しておくとう便利。

## おもちにあきたら「ヨモギのクッキー」

- ①ヨモギの若葉20gは重曹入りの熱湯でゆでて、冷水にしばらくつけた後、細かくみじん切りにする。
- ②そこへ無塩バター120g、グラニュー糖170g、卵1個、塩・バニラエッセンス少々を入れて混ぜる。
- ③さらに薄力粉200gも加え、ざっくりと混ぜる。
- ④クッキー型でぬき、170度のオーブンでおおよそ15分焼く。

春。土手や野原の日だまりに、ポツポツと芽吹き始めた野草たち。太陽をいっぱい受けた若芽には、新鮮なエネルギーもぎゅっと詰まっています。そこでおすすめなのが、楽しむ、食べる喜びを一度に体験する、春季限定摘み草ハイキング&クッキング。夕食に、ほろ苦さが格別な若草料理はいいか？



愛称すかんば。タデ科の多年草で、芽は赤紫。かわとすっぱい。似たものにイタドリがあり、どちらも食用にできる。日くてすっぱい「すかんばのポタージュ」(1人分)

- ①ホウレンソウの葉60gは、塩ひとつかみ入れた湯でゆでて、水に取る。
- ②玉ネギはじっくりといためる。
- ③イタドリの芽300gもゆでて、火を止めてすぐ重曹小さじ1を加え、さめたら水にしばらくさらした後、水を切っておく。
- ④①②③をミキサーにかけ、牛乳2カップ、バター10g、ブイヨン4gといっしょに煮込む。

## ひなたぼっこ摘み草は、 伝統的ニッポンの春の風物詩。

春の摘み草は、昔からある野遊びの一つ。野草には鉄分、カルシウム、ビタミンといった栄養がいっぱい。その分、アクが強くて、熱湯でゆでた後、水にさらしたり、食塩を入れてゆでるといった工夫が必要です。

ここでご紹介したほかに、食べられる野草にはオランダガラシ、セリ、カタクリなどたくさんあります。ただし、野草には毒のあるものもありますから、ご注意を。



花盛りの6月頃に、全草を刈り取り、陰干しにして保存し、煎じて飲むと、さまざまな病気に効果があるといわれる。昔から家庭常備薬草として親しまれているが、漢方でも十葉(じゅうやく)といわれ、薬用に用いられている。

## ホントは薬草「ドクダミのからしあえ」 (4人分)

- ①ドクダミ全草12本(葉は40枚)くらいは、色よくゆであげるため、茎から順にゆで、冷水につけておく。
- ②しょうゆ大さじ $\frac{1}{2}$ 、ときがらし小さじ $\frac{1}{2}$ 、みりん大さじ1で、からししょうゆを作る。
- ③①の汁気を絞って、食べる直前に②とあえる。
- ④花は生のまま添える感じで盛り合わせる。



葉を引き抜くと、地下に球形の白い鱗茎がついたまま抜けてくる。形がアサツキ、香りがニンニクに似ていて、ビタミンが豊富に含まれている。花の咲く前が食用に適している。土手や野原で、意外に簡単に見つけることができる。

## ビタミンいっぱい「ノビルのピーナツあえ」 (1人分)

- ①ノビル5本は、柔らかい若芽と白い球根の両方を熱湯でさっと湯がき、冷水でさましておく。
- ②すり鉢でピーナツ5粒、味噌小さじ1をなめらかになるまですり、水気を絞ったノビルとあえる。



# 緑自慢

## グリーンキャンパス Part.2

### ●船橋市立若松小学校

船橋市の南、人工造成地にある若松小学校。名前の通り松に囲まれた校内には、サクラ、イチョウ、クリ、ミカン、シイ、ポプラなど70種類、1,900本の木々も。特に子供たちに人気の菜山は、春から夏に、緑濃い森に変身。恰好の遊び場に、「樹木や野生動物は季節の移り変わりを教えてくれます。回りが団地で自然に触れる機会が少ない子供たちに、自然のままで解放しています」と、清川康子校長先生。

また、全児童が「一人1鉢運動」を展開。まず、

土づくりの地道な栽培作業から。「ここは10年前まで海だった所。植物は育たないのが当たり前と言われてきました。でも、育てようと思う心があれば植物は育つんですね」とおっしゃる言葉の中に、先生方のご苦労が感じられます。それに、5・6年生で構成された栽培委員会も活発に活動。昨年はサルビア1,000鉢、コスモス600鉢が、春から秋に正門の回りや防波堤を見事に彩りました。今年は栽培委員の呼びかけで、全校の子供たちが「菜の花の1鉢栽培」にチャレンジ。冬を越した菜の花は卒業式を黄色で飾りました。

また、同委員で組織された「緑の少年団」活動も目覚ましく、昭和58年の全国少年団活動発表会では、「大会会長（参議院議長）賞」を受けました。緑の奉仕活動や、腐葉土作り、堆肥作りも頑張っています。塩害や風害からどのように植物たちを守り育てていくか、などの地道な努力がむくわれたのです。

「子供たちは本当に熱心に世話をします。登下校の際に、自分の育てた花や友達の花を眺めている姿を見ると、確かに豊かな心が育っているのを感じます」と、自信にあふれた校長先生の笑顔。そして、「みんな、学校が大好きですよ」とも…。



【やまからにげてきたゴミをばいばい】  
田島 征三 え・文  
「やまから いろんなものが にげ  
てきた…やまのなかの おおきな お  
おきな ゴミすてば…ゴミすてばから  
どくのみずが しみてでながれてゆく  
…」現実には起きているゴミ処分場問題。  
山はゴミ捨て場ではない。美しい自然  
も水もなくなってしまう。一緒に考え  
てください。幼児から大人まで。  
童心社 定価1,300円(本体1,262円)

【ツナの本は緑のダム】  
太田 威 文・写真  
ツナの太木に彫られた「木」の文字。  
昔の人は、ツナの太木に水の神様が宿り、恵みを授けてくれると信じてきました。豊かな水を生み、たくさんの命を支えてきたツナの森。緑のダムとはどんな関係があるのでしょうか。森の大切さを感じながら、じっくり読んでください。小学校中高年から大人まで。  
あかね書房 定価1,236円(本体1,200円)

※左記の本を抽選で各1名の方々にプレゼントします。官製ハガキに希望の図書名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、(社)千葉県緑化推進委員会「プレゼント係」へご応募ください。あて先は8ページの右下参照。締め切りは4月30日(消印有効)。当選者は次号(No.4)で発表します。  
なお、前回(No.2)のプレゼントは、抽選の結果「木の本」は千葉市・結城達さんに、「植物記」は成田市・南村優美さんに決定いたしました。おめでとうございます。

オススメします。  
この本…

「みどり通信」  
マイシャッターチャンス



千葉市若葉区・岩本 豪穂さん(56)  
「場所は、家の近くの加賀利貝塚公園。妻と一緒に毎朝、5時半から6時頃歩く散歩コースで、私の好きな場所です。自然は毎日、違った風景を見せてくれるんです。四季によっても違いますし、天気によっても微妙に変わってくる。そんな変化を撮りたくて、2年半前からカメラを始めたのですが…。  
写真は、5月初旬に撮影しました。山桜の季節もいいですが、新芽が芽吹き、やがて緑一色に変わっていくこの時期も大好きです」。

※「グリーンえっせんす」では、県内の緑(自然)をテーマに、県民の方が撮影した、カラー写真を募集しています。プリント、ネガ・ポジフィルムなどで、サイズは何でも結構です。撮影日時、場所、コメントなどを書き添えてお送りください。詳しくは8ページの「みどり通信」原稿募集をご覧ください。



# 企業の中の緑

(株)日立製作所 産業機器事業部 産業システム本部 (沼志野市)

東沼志野一帯に広がる工業団地。日立製作所もその一角にあります。敷地面積34万6000㎡。15%に当たる5万500㎡が緑地を占めています。同製作所が設立された昭和38年当時は何もない原野。所々にあった防風林の松を、有効活用して現在のスケールに。今では、黒松3,500本を含めマテバシイ、ヒバ、ネズミモチ、ウバメガシ、サンゴジュ、八重桜などが2万本に。平成3年には、緑化優良工場として“(財)日本緑化センター会長賞”を獲得しました。

主に産業機器を生産する工場の敷地内を、甚だ目のように走る道路。南北には八重桜、木蓮の並木が、東西にはヒマラヤスギ、シイの木の並木が、それぞれ樹齢30年以上の貫禄と枝振りを見せています。敷地の南東に祭られている稲荷神社。15~20mの樹木が参道を覆い、工場の喧騒がウソのよう。「手入れは専門の方をお願いしています。ですから、きめ細かい管理で害虫の被害なども最少限に食い止められているんです。それに台風などで老木が折れた



時のために、次の苗木を育てています」と、設立当時からこの緑を見続けてきた庶務課・主任の大熊さん。

時は春、4月。350本の八重桜が満開です。種類も多く、白、ピンクと咲き競います。工場敷地内のため、普段の日は開放しません。ただ、毎年4月下旬の日曜の一日だけ、花見まつりを開催。社員と家族の方々、それに地元の方が桜の木の下に集まってきます。昭和51年から続いている花見まつりは、毎年6,000人もの人で賑わいます。植木の即売会、露地野菜の出店もあつたりで大盛況。八重桜なので開花時期が遅く、2度目のお花見を楽しんでいるようです。うらやましい限りー。

「工業団地のためか、工場周辺に緑が少ないんですね。地域の方々も一緒に楽しめる機会を作ったり、敷地内の緑を守り殖やすことは工場の伝統でもあり、緑を守る責任者として大切なことだと考えています」。庶務課・課長の今井さんの言葉が印象的でした。



## 森林・緑化基金 寄附金ありがとうございました。

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 在席 一郎           | 陸建設局            |
| 新興土産市           | 狭いすみ漁園          |
| 平和建設興業株         | 山武富岡土木商         |
| 鈴木建設株           | 勝安川組            |
| 勝野精工務店          | 勝中村工務店          |
| ライト工業株          | (株)水光建設         |
| 遠藤建設株           | 勝中山工務店          |
| (安房林友会 木の日まつり)  | 宇津田建設株          |
| 来場者             | 佐藤工業株           |
| イビデン工業株         | 日本信販㈱グリーンナリーカード |
| 株東船建設           | 国土防災技術㈱千葉支店     |
| 「清和国民の森」募金箱     | 鐘形建設工業株         |
| 南井上建材           | 東京電力㈱千葉支店トック&   |
| 開発工事(株)千葉営業所    | ライプコンサート        |
| 株鈴木組 (茂原市)      | 勝崎建設㈱           |
| 株岡田建設           | 富士カントリー(株)プロ・アマ |
| 株栗組             | チャリティゴルフ        |
| 株五藤組            | 山武郡市森林組合        |
| 「海浜地域農林業まつり」実行委 | 株水越組            |
| (株)ゴルフの緑化促進協力会  | 鈴木 和也           |
| テレホンカード友の会      | 三田興業株           |
| 株桑田工務店          | 株築和興業           |
| 千葉県林業研究会        | 株十文字土木          |
| 「大多喜国民の森」募金箱    | 株鈴木組 (鴨川市)      |
| 技研建設株           | 南津原組            |
| 印旛森林組合          | 南田村建設           |
| 株海海興業           | 長谷川建設株          |
| 株鈴木工業           | 三浦建設株           |
| 株渡辺工務店          | 株東京鉄骨橋梁製作所      |
| 株原土産株           | 香取郡市森林組合        |
| 株佐生             | 三平産業株           |
| 丸一建設株           | 田中建設株           |
| 株安藤建設           | 株安野工務店          |
| 株袖ヶ浦カンツリー倶楽部    | 南加瀬建材           |
| 南久野工業           | 株大業工務店          |
| 大股興業株           | 和泉建設株           |
| 奥村建設株           | 川前開発(株)         |
| 豊田興産株           | 勝建設株            |
| 豊井建設株           | 東海建設株           |
| 株山崎工務店          |                 |
| 本多建設株           |                 |
- ※平成30年10月から12月まで、順不同、敬称は略させていただきます



## 森林浴のつどい参加者募集

- 日 時 平成6年5月14日(土)
- 場 所 ①大多喜県民の森コース(家族向き)  
約5.5km  
②清和県民の森コース(健脚向き)  
約12km
- \*各コースともバスで千葉市を出発し目的地に向かいます
- 募集人数 各コース50人
- 参加費 大人・子供とも一人1,000円  
(障害保険料、バス代含む)
- 申し込み方法 封筒に、住所、氏名、年齢、電話番号、希望コースを明記したものと、80円切手を貼った返信用封筒を必ず同封し、本委員会「森林浴係」へお申し込みください。4月22日(金)締め切り。当日消印有効。申し込み多数の場合は、抽選といたします。

## 県民の森のつどい

新緑の4月、各県民の森では、自然とのふれあいを深める各種イベントを開催します。気軽にご参加ください。なお、詳しいお問い合わせは、各県民の森に。

会 場 (申し込み連絡先)	内 容	開催日	募集人数
内 浦 山 県 民 の 森 04709-5-2921	野草に親しむ会	16日(土) 17日(日)	50人
清 和 県 民 の 森 0439-38-2222	たけのこ餅作りイベント	24日(日)	50人
館 山 野 鳥 の 森 0470-28-0166	山野草観察会	17日(日)	30人
船 橋 県 民 の 森 0474-57-4094	竹馬・竹ぼうき作り	17日(日)	50人
東 庄 県 民 の 森 0478-87-0393	野草教室	17日(日)	40人
大 多 喜 県 民 の 森 0470-82-3110	旬の味覚を楽しむ会	17日(日)	50人

\*内浦山県民の森は1泊2日の行程となります。

## 「みどり通信」原稿募集

皆様とのコミュニケーションを大切にしたい「グリーンえっせんす」では、マイ・シャッターチャンスや、次のミニコラムの原稿(未発表のもの)も募集します。

### ●我が家の緑は家族の一員

家族で、大切に育てている植物をご紹介ください。植物の名前、大きさ、年数、育て方、思い出などを書き、写真を添えてお送りください。

### ●緑自慢(私の町の緑)

あなたがお住まいの街並みの街路樹、近くの公園の木、古木など、身の回りにある緑をご紹介ください。あて先は、下記の(社)千葉県緑化推進委員会「みどり通信係」へ。

住所、氏名、年齢、電話番号、コラム名もお忘れなく。掲載させていただいた方には、(社)千葉県緑化推進委員会のオリジナルテレホンカードを差し上げます。

ほかにも、緑に関する情報、質問、ご意見などがありましたら、どしどしお寄せください。



### ●季節の花・山桜●

華やかなソメイヨシノや八重桜とは一味違う、清楚な白色の五弁花を咲かせる。古今集でも「山桜我みにくればはるがすみ」と詠まれ、赤褐色の葉とともに、ぼうっと霞んで見える風情が古くから愛されている。全国的には吉野山の桜が、県内では印旛村の吉高の桜がこの種である。

## 表紙の絵

表紙の作品は、平成5年度国土緑化運動ポスター原画コンクールにおいて、小学校低学年の部・委員会会長賞を受賞した、松戸市立馬橋小学校1年上山陽介くんの作品です。



## グリーンえっせんす 第3号

1994年4月1日発行

発行/(社)千葉県緑化推進委員会

〒260 千葉市中央区長洲1-9-22 森林会館

TEL 043(225)3181 FAX 043(225)3255

編集/凸版印刷株 TEL 043(227)2261

この広報誌は、再生紙を使用しています。